

平成30年度各部の重点取組

部(局)名	都市魅力部
部(局)長名	畑澤 実
理事名	原山 葉子 (シティプロモーション担当)

【基本姿勢】

社会経済情勢の変化や経済のグローバル化による競争激化など、事業者を取り巻く状況が大きく変化してきている経済状況において、中小企業の経営基盤を強化して経済の活性化を図ることが、まちのにぎわいを生み出す源です。それを推進していくために、「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づき、基本理念及び基本方針の実現に向けた取組を進めます。

我が国は、平成20年(2008年)をピークに人口減少の時代に入っており、総人口の減少と同時に少子高齢化が急速に進行するといわれている中、本市の人口は、住宅の再開発を背景に現在も微増しています。

しかし、本市においても少子高齢化は着実に進み、いずれは人口が減り始めることが予測されることから、吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、持続的なまちの発展に向けて、まず今住んでいる市民に「住み続けたい」「このまちに住んで良かった」といった市への愛着や誇りが醸成されるような効果的なシティプロモーションに取り組みます。

また、来年は吹田まつりが第50回を迎えます。翌年の平成32年(2020年)には、日本万国博覧会が開催されて50周年を迎えるとともに、本市にとって市制施行80周年の区切りの年であり、プレ企画も含め愛着や誇りが醸成されるような周年事業となるよう検討していきます。

健康寿命延伸を図るための運動の習慣化に向けた支援やスポーツを通して感動を体験できる取組を進め、生涯スポーツ社会の実現に努めます。

また、伝統文化、地域文化の担い手を育成するための取組を推し進めるとともに、「吹田市多文化共生推進指針」に基づき、外国人市民にとっても暮らしやすい社会の実現に努めます。

【重点課題】

1	地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造
2	商店街等の活性化
3	シティプロモーションの推進
4	情報発信プラザ(Inforestすいた)を拠点とした都市魅力の発信
5	吹田まつり
6	大学連携
7	生涯スポーツ社会の実現
8	(仮称)吹田市文化芸術推進基本計画の検討
9	文化芸術の振興
10	多文化共生社会の実現

【重点課題1】

地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

産業の振興は中小企業者の発展を基に進めていくことが重要な要因であり、産業の土台を支える中小企業の事業活動の維持、拡大を図る取組を進めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

①	産業施策の指針となる「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づいて、各施策の進捗管理及び検証を確実に機能させて、産業振興につながる取組を進めます。
②	中小企業全体の事業活動の発展を促進することが、産業振興につながることから、国の支援施策とも連携して中小企業の活性化を支援する取組を進めます。
③	産業振興の重要な位置づけである企業誘致を推進することにより、さらなる産業集積の維持及び拡大を図り地域経済を活性化させるために、本市の企業誘致施策をはじめ、国や大阪府の施策とも連携して誘致を促す制度の活用に努めます。
④	JOBナビすいたを拠点として、生活困窮者自立支援センターなど関係機関と連携し、就職困難者をはじめとする求職者に対し、就職相談、企業説明会・面接会、セミナーの開催や市内企業への職業紹介など、きめ細かな就労支援を行い、雇用と定住の促進を図ります。 また、勤労者会館につきましては、改修工事に向けた今後の予定など利用者への周知を図ってまいります。
⑤	商工会議所、大学、金融機関及び大阪労働局等と連携し、市内外の大学生等を対象とした「就職説明会」や「企業説明会」等を開催し、若い世代に対して魅力ある市内企業の情報発信や、企業との出会いの場の創出に取り組みます。
⑥	吹田市農業振興研究協議会と連携し、地元の農家が生産した農作物の地産地消を推進するため、吹田市内での朝市の実施に取り組みます。

イ 達成目標

①	事業者や経済団体をはじめ様々な組織と連携し、「吹田市商工振興ビジョン2025」、本市産業振興施策等の周知を図り、ビジョンの取組を確実に進めることで産業の発展に努めます。
②	中小企業の実態及びニーズの把握を行い、本市の産業施策への反映に努めるとともに、国や大阪府との制度と連携し、中小企業の発展を図ります。
③	企業誘致を推進する制度の活用促進を図ることで、新たな企業の誘致及び市内企業の市外移転防止並びに雇用の拡大に努めます。
④	求職者の状況を踏まえた求人開拓と適切な職業紹介によって、マッチング率の向上を図り、採用後の定着状況を確認するなど継続した支援に努めます。 また、勤労者会館利用者懇談会などを通じて利用者の利便向上に努めます。
⑤	市内外の大学生等の市内企業への就職につながる取組を進めることで、若い世代の本市への定着を図り、雇用と定住の促進に努めます。
⑥	朝市を定着させるため、定期的な開催に努めます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	企業誘致推進事業	地域経済振興室
イ	新産業育成・創業起業支援事業	地域経済振興室
ウ	中小企業活性化支援事業	地域経済振興室
エ	商工振興施策検討事業	地域経済振興室
オ	企業情報収集・支援事業	地域経済振興室
カ	地域就労支援事業	地域経済振興室
キ	地産地消の推進事業	地域経済振興室

【重点課題2】

商店街等の活性化

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

商業団体、地域住民等との協働により、人が交流し、安心して買い物ができ、地域コミュニティの向上など公共的役割を積極的に担う商店街等を支援し、地域住民のニーズや地域課題、地域の特性に応じた魅力ある商業地づくりを進めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 活性化に取り組む商店街等との協働により、商店街が地域コミュニティの核となり、個店の魅力向上を図り、地域になくはならない魅力ある商業地づくりを進めます。 |
| ② | 商業関係者との意見交換などを通して、商店街等が抱える課題の抽出やニーズの把握に努めます。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | JR吹田駅前南立体駐車場跡の活用については、商店街の活性化に資する取組となるよう引き続き支援を行います。また、再生に向けた取組を行うニュータウン近隣センターに対して、関係部局と連携し継続した支援を行います。 |
| ② | 商店街等の現状把握に努め、空き店舗活用事業の促進など地域の特性に応じた支援を行います。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	駅周辺活性化事業	地域経済振興室
イ	商店街等魅力向上促進事業	地域経済振興室
ウ	相談事業	地域経済振興室

【重点課題3】

シティプロモーションの推進

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、職員一人ひとりがシティプロモーションを担当するという意識を高めるとともに、市民にとって市に対する愛着や誇りが醸成される取組を進めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 若手職員を中心としたシティプロモーション提案プロジェクトチーム「enZINE（エンジン）」を更なる充実を図り、従来の組織枠を越えたクロスファンクショナル（機能横断型）チームを構築し、フレキシブルな活動が実施できる体制を整えます。 |
| ② | 昨年度にNTT西日本と締結した「ICTを活用したシティプロモーション推進に関する連携協定」に基づき、庁内関係部局と連携しながらICTを活用したシティプロモーション事業の展開を図ります。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | 「enZINE（エンジン）」の企画を関係部局と調整し、その実現を図ります。 |
| ② | 市民生活の利便性向上を目指したポータルアプリの開発や位置情報サービスを活用した市の魅力の情報発信を実施します。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	シティプロモーション事業	シティプロモーション推進室

【重点課題4】

情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした都市魅力の発信

（1）目指すべき方向（中期的な目標）

日本最大級の大型複合施設であるEXPOCITY内にある恵まれた立地条件を最大限活用し、本市の多彩な都市魅力を発信していきます。

（2）今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | ららぽーとEXPOCITYのイベント広場を活用したPRイベントを開催します。 |
| ② | 情報発信プラザ（Inforestすいた）での定期的なフェアの開催など魅力ある施設づくりを進めます。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | EXPOCITY内の施設との連携や市内の事業者や大学などにも参加・参画いただき、本市の都市魅力を訴求するPRイベントを開催し、地域経済の活性化を図ります。 |
| ② | フェアと連動した企画や魅力ある取組とすることで更なる来場者数の増加を目指します。 |

（3）目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	観光企画推進事業	シティプロモーション推進室
イ	情報発信プラザ事業	シティプロモーション推進室

【重点課題5】

吹田まつり

（1）目指すべき方向（中期的な目標）

吹田の夏の風物詩として開催されてきた吹田まつりは、来年、第50回の節目を迎えます。継続されてきたまつりを次の世代につなげるため、市民に一層愛されるイベントとしていきます。

（2）今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 吹田まつり実行委員会と協働し、第49回吹田まつりを盛大に開催します。 |
| ② | 第50回の節目に向け設置した「魅力アップ検討委員会」と協働し、方向性や企画内容を検討します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|--|
| ① | 新しい取組やこれまでの企画も大切に、様々な世代に愛される吹田まつりを目指します。 |
| ② | 新しい視点や発想を取り入れ、第50回吹田まつりやそれ以降のまつりの方向性を定めます。 |

（3）目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	吹田まつり補助事業	シティプロモーション推進室

【重点課題6】

大学連携

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

本市に所在する5大学・1研究機関との連携をさらに推進し、知的・人的資源の交流の場を提供することにより、市民や学生に地域への関心・愛着を深めていただくことを目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 各機関との連携協議会を開催するとともに、連携事業に関する情報・ニーズの集約に努め、情報共有及び交流活動を推進します。

イ 達成目標

① 各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展につなげます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	大学のあるまちづくり事業	シティプロモーション推進室

【重点課題7】

生涯スポーツ社会の実現

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の環境づくりを目指します。
スタジアム内外においてガンバ大阪を応援する団体等との連携を図り、ガンバ大阪と触れ合う機会を増やし、ホームタウン意識や「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識の醸成を図ることにより、スポーツ文化の推進や地域の活性化を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 実践的なスポーツ指導者の育成を図ります。

② 健康寿命延伸に向けた運動習慣化の支援を行います。

③ 全市をあげてガンバ大阪を応援する気運を高めるため、スタジアムやガンバ大阪と触れ合うことのできる機会の創出を図ります。

④ 市民がスポーツ施設を安心、安全に利用できるように、整備を行います。

イ 達成目標

① スポーツ指導者の指導技術の向上を図るため、スポーツ指導者研修会を実施します。

② ウォーキングやノルディックウォーキングの継続した普及に努めるため、スポーツ関係団体との連携を強化し、より効果的な事業を展開していきます。

③ ホームタウン意識や「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識の醸成を図るため、ガンバ大阪や指定管理者、ガンバ大阪を応援する団体等との連携をさらに強化し、J1リーグ市民招待事業、ガンバ大阪派遣事業、補助金交付事業など、より効果的な事業を展開していきます。

④ 老朽化の進むスポーツ施設に対して、計画的に施設整備を行い、安心、安全、快適な環境を整えます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	運動習慣化推進事業	文化スポーツ推進室
イ	ココカラsuitableキッズ	文化スポーツ推進室
ウ	地域スポーツ促進・サポート事業	文化スポーツ推進室
エ	スポーツ大会・教室等実施事業	文化スポーツ推進室
オ	地域スポーツ指導者養成・育成事業	文化スポーツ推進室
カ	競技スポーツ指導者養成・育成事業	文化スポーツ推進室
キ	ホームタウン推進事業	文化スポーツ推進室
ク	総合運動場改修事業	文化スポーツ推進室

【重点課題8】

(仮称) 吹田市文化芸術推進基本計画の検討

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

社会経済環境の変化がある中で、教育、福祉、青少年育成など様々な政策分野における文化芸術の振興を総合的に推進するために、新たに「(仮称)吹田市文化芸術推進基本計画」の検討を進めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 計画策定の準備として、市民、芸術文化活動団体、学校、幼稚園等にアンケートを行うなどニーズや課題の把握に取り組みます。 |
| ② | 現行の文化芸術振興に関する施策の検証や課題の分析を行います。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|--|
| ① | 計画策定経過の中で、文化芸術に関わる団体相互の連携の強化を図り、文化芸術に係る取組の充実を図ります。 |
| ② | 文化芸術に関する取り組みを充実させるための支援などの環境整備に関する課題や方策について検討します。 |

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	文化振興審議会事業	文化スポーツ推進室

【重点課題9】

文化芸術の振興

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

市民の幅広い文化芸術活動を支援し、新たな市民文化の創造と地域文化の継承・発展に向けた環境づくりを目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① (公財)吹田市文化振興事業団、吹田市文化団体協議会をはじめとする文化団体等と連携し、市内各所で市民文化の醸成と地域文化の継承・発展のため、効果的な支援を行います。

② 歴史文化まちづくり協会と連携し、歴史文化まちづくりセンター事業のより一層の充実を図ります。

イ 達成目標

① 子供たちをはじめ、より多くの市民が文化芸術に親しみが持て、身近に感じられるような、参加・体験型事業を通して市民の文化意識の向上を図ります。

② 市民が気軽に歴史や文化に親しめるよう地域の文化的資源の活用を図ります。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	ティーンズクラシックフェスティバル事業	文化スポーツ推進室
イ	市民文化祭・芸術芸能フェスティバル事業、伝統文化教室フェスティバル	文化スポーツ推進室
ウ	市民劇場等運営委託事業	文化スポーツ推進室
エ	歴史と文化のまちづくり活動推進事業	文化スポーツ推進室

【重点課題10】

多文化共生社会の実現

(1) 目指すべき方向（中期的な目標）

「吹田市多文化共生推進指針」の目標である、全ての市民が国籍や民族、文化の違いを認め合い、人権が尊重され、対等な地域社会の一員として共に暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 「吹田市多文化共生推進指針」の策定の意義等を周知するため、市民や職員に対し啓発に努めるとともに、進行管理にあたり学識者等の意見を聞く場を設けます。

② 行政窓口において、外国人市民等が安心して手続き等が行えるよう通訳者を送るための事業を行います。

イ 達成目標

① 「吹田市多文化共生推進指針」の策定の意義等を広く市民に知らせることで、同指針の内容を浸透させ、理解を深めることを目指します。

② 行政窓口通訳同行事業を実施し、外国人市民等がスムーズに手続きや相談ができるようなシステム作りに取り組みます。

(3) 目標を実現するための重点的な取組

	事業名	所管室・課
ア	多文化共生推進事業	文化スポーツ推進室